

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 土屋 敏幸 副会長 波多野 篤志 幹事 伊佐地 司 クラブ会報委員長 後藤 政之

2021～2022 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「みんなで考えよう 未来へ繋ぐために」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム

第 2060 回例会 2022 年 4 月 1 日 (木) 担当/会長・幹事・親睦活動委員会
「3RC 合同 親睦お花見例会(美濃・関・関中央) ホスト：美濃 RC」

前例会の記録 第 2059 回 2022 年 3 月 17 日 (木)

卓話 岐阜新聞社 取締役

統合編集局長 國本 真志登様

テーマ 「岐阜新聞解体新書」

～実は過去にこんな失敗しちゃいました～

担当 クラブ会報・雑誌・広報委員会

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*お客様の紹介

岐阜新聞社

取締役 統合編集局長 國本真志登様

営業本部 読者局長兼ビジネス開発部長

細野健一郎様

読者局販売部 副部長兼ビジネス開発部副部長

松野幹郎様

*会長あいさつ 土屋敏幸会長

皆さん、こんばんは。本日のお客様を紹介いたします。岐阜新聞社 取締役 統合編集局長 國本真志登様、



営業本部読者局長兼ビジネス開発部長 細野健一郎様、読者局販売部副部長兼ビジネス開発部副部長 松野幹郎様です。当初は 2 月 17 日に卓話を依頼させて頂いたのですが、コロナウイルスの関係で急遽中止になりました。再度、お引き受けくださり、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。テーマは、「岐阜新聞解体新書」～実は過去にこんな失敗しちゃいました～です。サブタイトルに興味湧きますね。宜しくお願ひします。

さて、3 月 12 日土曜日 10 時より関 RC 55 周年記念式典に伊佐地幹事と参加しました。「せきてらす」に初めて入館したのですが、美濃 RC 会長の土本さんはもう何回も会合などで来ているそうです。地元なのにちょっと恥ずかしく思いました。来賓、招待者が関市長はじめ 18 名でした。記念事業として防災ビデオを作成し、大きなモニターとともに関市に贈呈されました。一部が上映されましたが、関市北東部の水害の映像はいつみても心が痛みます。私ですらなかなか癒えぬ痕となっているのに。ウクライナの人達の心情はどうなんだろう。理不尽に命

の危険に晒され、奪われる。幼子の様子を見るたび涙ぐむ。相手が同じ人なのだから始末が悪い。「憎しみの連鎖」が永遠に続かないことを祈るばかりだ。先日、ガバナー事務所からR Iより各地区でとりまとめウクライナに義援金を送ることになったと連絡がありました。尚、地区としては財団DDFから1,000万円をウクライナへの人道支援金として拠出するとのこと。「人道支援金のご協力のおかげ」については4月理事・役員会で協議しますので、よろしくをお願いします。

*卓 話

岐阜新聞社 取締役

統合編集局長 國本 真志登様

テーマ「岐阜新聞解体新書」



～実は過去にこんな失敗しちゃいました～

【資料より抜粋】

岐阜新聞編集綱領

- 1 岐阜新聞は、岐阜県民の新聞である。文化の薫り高い郷土づくりに貢献する。
- 1 平和・民主主義の精神を堅持する。
- 1 言論・表現の自由を守る。独立を確保し干渉を許さない。
- 1 真実を追求し公正・正確な報道に努める。
- 1 品位・節度を重んじ、識見を高め、進取の気風を保つ。

「起承転結」ではなく「逆三角形」

Webでは「読了率」も考慮

新聞社に入り、記事の書き方としてまず教えられたのが「記事は逆三角形で」という基本だった。逆三角形？記事のどこが頂点で、どこが底辺に当たるのか？学校では「文章は起承転結で書くと分かりやすい」と教えられたのに・・・頭の中にいくつもの疑問符が浮かんだ。

先輩の指導はこうだった。「新聞記事というのは結論から先に書くものだ。第一段落を『リード』と呼ぶ。リードにはニュースの内容が概ね分かるような要素を盛り込め。」その理由について、先輩は

「新聞を読む朝はみんな忙しいんだ」とまくし立てるよう続けた。逆三角形の底辺は記事の1行目。ニュースの重要な部分を記事の冒頭に置き、理由や原

因、経緯はその後に続ける-というのが記事の書き方の基本だ。限りある紙面の中に必要な記事を抑える編集作業では記事を後ろから削って調整してもニュースの重要部分を落とすことがないからだ、という理由も教わった。

この会社に入って間もなく30年。基本を常に念頭に仕事をしてきたが、最近になって他の新聞社の記者から常識を根底から覆すようなアドバイスを受けた。「読了率も大事だよ」

新聞業界はデジタル化が進み、記事が新聞紙面だけでなくウェブ上部も読まれることを意識する機会が格段に増えた。ユーザーがこの記事に果たして満足して読んでくれたのか、ページのどこまで読まれたかを示す指標が読了率だ。逆三角形の考え方とは根本的に異なる。

時代に応じて記事の書き方も柔軟に変えることが求められる。変わらないのは、紙やweb画面の向こうにいる読者の顔を思い浮かべる姿勢だ。

「取材記者が見出しを付けている」は間違い

統合編集局は、取材セクションの「報道本部」と編集セクションの「整理本部」に分かれている。報道本部の記者は取材して記事を書き、整理本部の記者は記事のニュース価値判断をして扱いを決め、見出しをつけて紙面をレイアウトする。「取材記者が見出しを付けている」と思われがちだが、実は違うのだ。

「取材記者」と「編集記者」をセクション分けしているのは、どの新聞社も同じ。大きな理由は「客観報道の原則」があるから。取材記者が自らニュースの価値判断をすると恣意的報道につながってしまう。また、大本営発表をそのまま記事にして正しい情報を国民に伝えられなかった反省もある。公正・公平を貫くため、局内で役割を明確に分担している。

統合編集局は昨年、デジタル発信強化を目的に「メディア本部」も立ち上げた。今後は、「新聞とデジタル」の二刀流で情報発信に努めていく。

〈あえて自費します・・・新聞ってすごい〉

記事1本当たりの情報料1円未満

毎日届く岐阜新聞朝刊の掲載記事数は、証券欄やテ

レビ番組表などのデータを除いて1日当たり約140本。本紙朝刊の1部売りは130円（税込み）なので記事1本当たりの単価は1円未満。掲載している記事も政治、経済、スポーツ、事件事故、暮らしのニュースなど多岐にわたる。生活を豊かにする情報。新聞は極めてコストパフォーマンスに優れた媒体なのだ。

足で稼ぐ フェイクではない自負がある

ネット上にあふれるさまざまな情報。中には偽情報、誤った情報、根拠のない情報、不正確な情報も含まれる。新聞も同じなのか。新聞は記者が実際に「見た」「聞いた」「調べた」内容を掲載している。「伝聞」や「うわさ」だけで記事を書くことはない。「伝聞」や「うわさ」が本当かを調べ、確認して報道する。「根拠」を足で稼いで情報発信しているのが新聞。そこに「事実を伝える」自負を持っている。だからこそ、間違っただけの情報を掲載した場合の「訂正」は新聞社として最大の恥。「訂正」を出さない新聞でありたいと心がけている。

伝えたいのは「事実」 客観報道

岐阜新聞はメディアとして、民主主義を支える「人々の知る権利」を担う活動を根幹に据えている。かつては新聞社としての「論調報道」に意義を掲げた時代もあったが、ネットとで情報を得ることができる時代を迎え、「本当の情報」こそが人々の心や生活を豊かにすると考えている。新聞が自負する「正しさ」とは「正義を振りかざす」ことではなく、「本当のこと（事実）」を報道すること。社会通念に照らし合わせ「物事の是非」に踏み込むこともあるが、情報を届け、正しい事実を伝えることに汗をかく。歴史を紙面に記録し、「是非を判断するのは読者」との客観報道のスタンスで紙面編集と向き合っている。

*出席委員会

会員数30名、本日の出席18名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長、幹事

岐阜新聞社 取締役 統合編集局長 國本真志様 本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願いします。

・森 敬君

國本編集局長、本日の卓話よろしくお願ひします。

18名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・関RCより2022～2023年度 東海北陸道グループガバナー補佐予定者の略歴紹介を頂きました。

所属クラブ 関ロータリークラブ

氏名 亀井 高利様

職業分類 カミソリ製造

事業所名 日本利器工業株式会社

役職 代表取締役社長

<次例会の案内>

第2061回 2022年4月7日（木）

C. A会長エレクト研修セミナー報告

担当 次期会長・幹事